

和歌山県有田郡広川町

津木地区寄合会の運営、特産品開発、情報発信、イベントを共に考える



【地域の基礎データ】

人 口：7,053 人（平成 31 年 1 月末現在）

面 積：65.33 平方キロメートル

高齢化率：29.3%（平成 27 年 1 月 1 日現在）

産 業：農林業、漁業、製造業 など

観光資源：稲むらの火の館、ツギー谷のお花畑 など

【活動の基本情報】

参加学生数：16 名（1 回生：4 名、2 回生：4 名、3 回生：3 名、4 回生：5 名）

活動期間：平成 26 年 6 月～

担当教員：永瀬節治

1. 活動実施の経緯

本 LIP では、平成 26 年度以来、広川町の津木地区寄合会による地域活性化の取り組みを支援する活動を展開している。これまで、寄合会が管理運営を担う「ツギー谷のお花畑」におけるイベントの企画運営や、地域内外の出店イベントにおける加工品の販売などを、寄合会のメンバーと連携しながら実践してきた。これらの継続的な活動をベースに、広川町津木地区の地域資源のさらなる活用のあり方を検討している。

2. 活動の内容

今年度は、毎年 5 月に実施している津木地区の「ツギー谷のお花畑」のオープニングイベントは雨天により、また 9 月下旬に計画していた地域での合宿は台風により中止となるなど、悪天候により当初予定していた活動の変更を余儀なくされる場面は何度か見舞われた。そうした中でも、毎週定期的にミーティングを行いながら、活動計画や新たな取り組みの可能性を検討した。さらに広川町ふるさと祭りにおける寄合会の出店ブースの運営支援や、「稲むらの火祭り」の松明行列への参加、紀の川河川敷で実施された市駅“グリーンプロジェクト 2018「シエキノカワでピクニック。」における出店、大学祭での出店など、10 月から 11 月にかけて活発に活動を展開した。

2 月上旬にはぶらくり丁商店街で毎月開催されている「ポポロハスマーケット」に出店し、寄合会の加工品販売と広川町及び津木地区の情報発信を行ったほか、3 月には一度取りやめになった津木地区への合宿を計画しており、今年度の活動成果を寄合会の方々とともに振

り返りながら、地域資源を活用した今後の活動について意見交換を行う予定である。

◎2018年度の主な活動

6月：寄合会メンバーとの意見交換、総会への参加

8月：市駅“グリーングリーン”プロジェクトへの参加準備

※9月に予定されていた市駅GGPは台風により11月に延期

10月：稲むらの火祭りへの参加

11月：広川町ふるさと祭りへの参加

市駅“グリーングリーン”プロジェクトでの出店

大学祭での出店

2月：ポポロハスマーケットでの出店

3月：津木地区での合宿・報告会（予定）

広川町のまち歩きイベントへの参加（予定）

3. 活動を通じて

今年度は、広川 LIP として5年目を迎える中で、津木地区の地域資源について再確認するとともに、地域が学生に求めるものは何なのか、LIP としての役割はどうあるべきかを見つめ直す年となった。前述のように活動計画の見直しを迫られる場面もあったものの、日本遺産「百世の安堵」の認定を受けて、稲むらの火祭りへの参加など、広川町全体の地域資源に目を向ける活動も行った。3月の合宿では、津木地区周辺でのフィールドワークを行うとともに、寄合会の方々とともに今年度の活動の振り返りを行い、来年度の活動の発展に向けた意見交換を行う予定である。

4. 成果物など

2019年2月のポポロハスマーケットの出店に際し、新たに広川町と津木地区をPRするパネルを作成し、情報発信を行った。



▲市駅 GGP2018 での出店の様子



▲ポポロハスマーケットで掲げた PR パネル